

## 1. 社会・治安情勢

- (1) ブラジル政府は9月12日、ブラジル入国に際し、「有効なワクチン接種証明書」の提示のほかに、搭乗日の前日以降に実施された「抗原検査また RT-PCR 検査陰性証明書」の提示でも入国を認める旨発表し、水際対策がさらに緩和された。
- (2) 9月初旬、2019年以來、3年ぶりに大規模音楽イベント「Rock in Rio」がバハ・ダ・チジュカ地区において7日間にわたって開催され、期間中に31ヶ国から1万人以上の外国人観光客がリオを訪問したと言われている。チケット販売数は70万枚とも言われ、多くの観客で賑わった。同イベントによる大きな混乱こそなかったものの、同地区の9月の窃盗発生総数は、通常月の3倍以上となる約2,000件を記録した。

## 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2022年度第2四半期（7～9月）中のリオ州内における殺人事件発生件数は、773件で、前期（2022年度第1四半期）と比べて約10%増加した。
- (2) また、リオ州内における強盗事件発生総数は、27,580件（前期比+6%）と増加し、2021年度第3四半期（10～12月）から増加傾向が継続している。手口別では、特に屋外での強盗（車両強盗、通行人強盗、携帯電話強盗）件数の増加が認められた。
- (3) 特に、携帯電話を狙った強盗事件の発生件数は、過去5年で最も高い水準で推移しており、今期の発生件数は4,402件（前期比+約14%）、前年度同期（2021年度第2四半期：7～9月）と比べると約23%増加で、日常生活における警戒が必要である。

### 3. リオ州犯罪発生状況（2021-2022 年度）

	2021 年度		2022 年度	
	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期
	(10～12 月)	(1～3 月)	(4～6 月)	(7～9 月)
殺人	736	760	702	773
強姦性交等	1,316	1,381	1,356	1,482
商業施設強盗	666	651	617	610
住居侵入強盗	261	182	197	214
車両強盗	5,218	5,776	5,922	6,269
通行人強盗	8,969	9,345	9,674	9,947
交通機関内強盗	1,799	1,620	1,808	1,767
携帯電話強盗	3,340	3,534	3,867	4,402
強盗総数	24,543	25,191	26,029	27,580
窃盗総数	31,094	37,643	40,062	42,049
取扱件数	157,726	182,058	187,945	199,685
※警察介入の際の致死事件	257	318	303	361

### 4. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

#### （1）銃撃戦（リオ市レブロン地区）

7月10日未明、在留邦人も多く利用するレブロン地区のショッピングモール「ショッピング・レブロン」北東角付近において、強盗事件を発端とした銃撃戦が発生。防犯カメラの映像から、自動小銃も使用されていたことが判明。

#### （2）連続路上強盗（リオ市フラメンゴ、ラランジェイラス、グロリア地区）

7月17日以降、早朝・深夜の時間帯に、オレンジ色オートバイに乗った犯人による強盗事件が連続発生。ハンドバッグ、財布、携帯電話等の貴重品が狙われた。

#### （3）強姦未遂事件（リオ市フラメンゴ地区）

8月13日午後8時ころ、犬の散歩をしていた女性が、犯人に路地に引きずり込まれ、強姦されそうになった。女性の悲鳴に気づいた付近の民間警備員が駆けつけたため、犯人は逃走したが、その後付近を検索中の警察官により逮捕された。

#### （4）路上強盗（リオ市内バス停）

9月17日午後10時30分ころ、リオ市内のバス停で夜行バスを待っていた邦人が、けん銃を所持した犯人に携帯電話を奪われた。同バス停には待合室が設けられていなかったため、被害者が一人、屋外でバスを待っていた際に被害に遭った。

(5) 路上強盗（リオ市コパカバーナ地区）

9月21日午前5時30分ころ、外国人観光客の女性2名が、日の出を見るためコパカバーナ海岸に座っていたところ、2人の未成年者から金銭を要求された。被害者らがこれを拒否したところ、犯人らから激しい暴行を受け、携帯電話を奪われ、顔面骨折の怪我を負った。

5. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

6. 誘拐・恐喝事件発生状況

邦人被害は認知していない。